

日進市立相野山小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、10月7日(金)に日進市立相野山小学校、5年生2クラス(52名)を対象に出前講座を実施しました。今回は、名古屋市内を出ての出前講座となりました。

講座の内容は、まず干潟の仕組みと干潟に生息する多くの生き物についての話しの後、干潟保全の経緯とその流れから国際的に重要な湿地としてラムサール条約登録湿地になったことを紹介しました。また、現在、藤前干潟が抱える環境問題として、生物に悪影響を及ぼす漂着ゴミと、新たな海洋問題として取り上げられているマイクロプラスチックについて紹介したほか、干潟の砂泥に触れてもらったり、シジミによる水質浄化実験を行いました。

講座の最後には、質問タイムと藤前干潟の生き物等の観察、干潟を紹介するDVDの鑑賞を行いました。生徒達は、皆メモを取り懸命に取り組んでいました。相野山小学校の5年生は、総合学習の時間に環境保全について生徒が自らテーマを決め探求していくということで、その一つに藤前干潟の環境と歴史について取り上げていただきましたが、この出前講座がその学習の一助となってくれたらと思います。



* 出前講座の様子



* 出前講座の様子2

2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟の生き物と歴史を知ろう！

1. 干潟ってなんだろう？
干潟について(干潟の砂泥の観察)
2. どんな生き物がいるの？
シジミの浄化実験
底生生物と鳥類の紹介
3. 藤前干潟の歴史
4. 現在抱える問題
漂着ゴミとマイクロプラスチック
4. 質問タイムと観察タイム

3) 実施概要

実施日：平成28年10月7日(金) 10:55~12:30

場所：日進市立相野山小学校(日進市)

対象：小学校5年生(2クラス、52名)、

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所(TEL: 052-389-2877)までお問い合わせください。

2016年10月11日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 平賀歩美